

ドナウ通信

新任のメッセーj

次期日本人会会長 天野 明

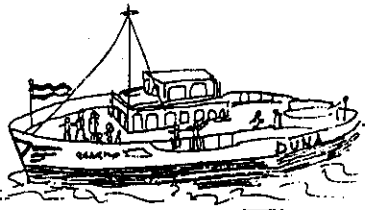
現在ハンガリーは、急速な政治経済改革の過程にあり、日本もこの改革を支援するために積極的役割を果たすことが期待されております。また、新年早々には歴代首相として初めて海部首相の来訪を控え、両国民の関心はこれまでになく高まっているのではないでしょうか。

このような時期に、平成二年度日本人会会長という重責をお引き受けすることになりましたが、日本人会としても両国間の友好の輪を広げ相互理解を深める上で少しでも貢献できればと考えております。

そして、在留邦人にとり、当国での経験が実り多く、憶い出深いものとなるよう新役員一同祈願致しております。

微力ではありますが最善を尽くしたく御指導御協力の程お願い申し上げます。

末筆になりましたが、草薙伊藤忠商事事務所長にはこの一年間、現日本人会長としてこの「ドナウ通信」発刊をはじめ、日本人会活動のために御尽力いただき誠に有難うございました。日本人会を代表して一言お礼申し上げます。



日本人会からの
お知らせ



十二月二日(土)ハイアットホテル大宴会場にて、一九八九年度日本人会総会及び恒例のお寿司パーティが行われました。一二〇名の会員が参加され、総会では左記事項が決定されました。

◎新役員(一九九〇年)

- 会長 天野 明氏(トーマン所長)
- 理事 岡 義清氏(日商岩井所長)
- 理事 吉岡直道氏(三井物産所長)
- 理事 山地征典氏(大学講師)
- 会計 佐藤紀子氏

◎補習校運営委員

日本人会より左記二名の方を推薦致しました。

(任期は、一丸丸〇年三月三十一日)

村瀬和男氏(丸紅所長)

石黒暎司氏(丸紅証券株式会社)

大使館からのお知らせ

◎ 十月一日現在、大使館に在留届を出している邦人数は男性一一八名・女性一一二名合計二三〇名となっています。

外国に三か月以上滞在しようとする方は、旅券法および同法施行規則によって大使館に外国滞在の届出を行うことになっていますが未だ届出のない方もいるようです。

緊急の場合には、大使館からの連絡や保護を受けるために重要な資料になりますので、未届出の方は至急大使館にご連絡ください。

お知らせ

関大使夫妻主催による新年レセプション（カクテル）が次のとおり開催されますので、ご案内致します。

*本レセプションの招待状の発出は、甚だ勝手ながら割愛させて頂き、本案内にてご招待に代えさせていただきます。

日時 平成二年一月二十五日（木）

十七・三〇～十九・〇〇

場所 日本国大使公邸

「日本文化週間」

を終えて

十月十二日のから、約一ヶ月に亘り開催された日本文化週間が無事終了致しました。

この場をお借りし、ご協力いただきました皆様は、厚く御礼申し上げます。

本文化週間のメインだった初日のオペラ「ちやんちき」公演。前評判も高く、当日は満席の盛況で観客はもとよりマスコミにも高く評価されました。

三島学習院大教授の「日本人はいま何を考えているか」と題した文化講演会では、西洋人には奇異に映る日本人について、かなり理解を深めてもらえたようです。

当地でご活躍の三井・西澤両氏の全面的協力の下、キャッスルギャラリーにおいて開催された

「日本紹介パネル展」並びに「三井・西澤彫刻展」も盛況でした。パネルの前では、写真のかもしれないという日本の明るい雰囲気「ハンガリーも将来このような国に。」という感想も聞かれました。

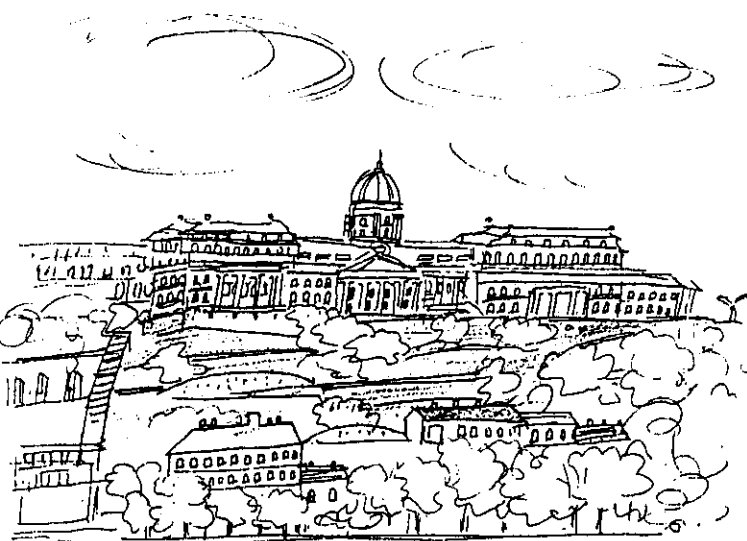
また、展示会場で折紙教室を開催しました所、会場が一杯になるほどの親子連れ。補習校の児童の応援で、思いがけぬ子供達の楽しい文化交流の一時となりました。

最後の樹徳会による「禪」の講演、日本舞踊

「御殿舞」や琴・義太夫公演、そして「香道」の実演等、日本でも馴染みの薄い催しで、ハンガリーの人達に理解できるかという主催者の心配をよそに、立見まで出る大盛況で、ハンガリー人の日本に対する関心の深さを改めて認識致しました。

以上、今回の文化週間は、お陰様を持ちまして成功裡に終えることができました。主催者として今回の催しの一つでも当国の人々の記憶に残るものであってくれればと願っている次第です。

（大使館 大久保）



「ハンガリー・日本友好会 (Magyar-Japán Baráti Kör)」の活動について
お知らせ

ハンガリーでは国の民主化に連れて色々な市民サークルが次々に誕生、それぞれ活発な活動を始めておりますが、日本との友好親善関係の開発発展に関しましても二年前に民間の「ハンガリー・日本友好会」が発足、折り紙の講習会から盆栽展や経済・社会に関する講演会に至るまで硬軟様々の催し物を通じてハンガリーにおける日本の文化・社会・スポーツの紹介と日本の皆様との友好関係の推進に努めております。現在会員はブダペストだけでも600人を越え、ペーチやセーケシフェールヴァール、ドゥナウイヴァーロシュなど全国各地の支部をも含めると優に千名を越えるであろうと言うことで、会員の数及びプログラムの豊富さの点で諸友好協会のうちで最もよく実質的な活動を展開している友好協会と言われています。

さて、そのハンガリー・日本友好会から、この程、日友好関係促進の一環としまして、滞日経験のある会員を中心に一勿論日本語はべらべらのみなさんです一在洪の日本の皆様方にハンガリーでの生活をより気持ち良く過ごして戴くために、ホームステイを始め各種の手続きや医者にかかったりなど、日々のちょっとしたことで異国のために思わず困ってしまったという時のボランティア・サービス活動を始めましたので、どしどしご利用下さって、親善を深めましょうとの申し出がありました。

10月末の総会で選出された新会長の Dr. RÁCZ István 先生 (カンドー・カールマン電気工業大学副学長) を始め、副会長の Dr. HIDASI Judit 先生その他、理事の中心メンバーは皆さんそれぞれ3~5年滞日の経験があり、心からの親日家で、日本での色々お世話になった経験をハンガリーにも是非生かしていきたいということから、早速の新理事会決定だそうです。この外、皆様方からのご提案大歓迎、また出来れば共催行事などどんどん企画して行きたい由、連絡先は下記です。(山地記)

Dr. RÁCZ István (ラーツ・イシュトヴァーン)
Kándó Kálmán Főiskola Igazgatóhelyettes
Budapest III.
Nagyszombat u. 19
1034
tel. 1689-895

今月の音楽会



* 今月のコンサートは、クリスマスを中心にした素敵なものが目白押しです。

○ 合唱とは質の違う、独自の透明度の高い世界を創り出し、いま注目されている声楽アンサンブル「トムキンズ」のコンサート。

* 十二月十四日 七時半

リスト音楽院大ホール

* 十二月十五日 六時

バルトーク記念館

○ ハンガリーが世界に誇るリスト室内オーケストラが、ピアノのコチシュを迎えてモーツァルトの夕べに登場します。

* 十二月二十一・二十二日 七時半

ビガドー大ホール

○ 定期的な演奏会を持たず、年に二・三回ソリストが集まりオーケストラを編成するという祝祭的な性格を持つ、ブダペスト・フェスティバルオーケストラのクリスマスコンサート。指揮はフィッシャー・ソリストがピアノのフランクル・ペーテルです。

* 十二月二十二・二十三日 七時半

リスト音楽院大ホール

○ クリスマスの日には、バッハやテレマンの作品からクリスマス降誕にまつわる曲ばかりを集めたザース・カリツキーによるオルガンコンサートがあります。クリスマス霧囲気を味わってください。

* 十二月二十五日 七時半

リスト音楽院大ホール

シリーズ「こんなな話」②

薬草茶の話



日本では以前ウーロン茶が爆発的に流行ったことがありましたね。脂肪分を溶かすなどと言われて、どこへ入ってもウーロン茶、自動販売機にまで登場したときは、多少アキレつつ、体に良いとなるとあつというまに広がるあたり、どこまでも日本的であるなど妙に感心していました。

ハンガリーでも広く常用される種々の薬草茶がありまして、その代表格が、カミラ茶。

キク科の植物でその花を乾かしてお茶にしますが、カゼや頭痛・おなかの具合の悪いとき……とにかく何にでも良い効果があると言うので、ここでは好んで飲まれています。

鼻づまりやノドの痛みには、この花を煮て、その湯気を吸うのが良いとされ、極めて原始的な方法ながら、風邪をひくとこちらの人は大きな鍋の上に顔を騎してのカミラ療法に余念がありません。それから、このお茶でうがいをしたり、湿布用の液体として使ったりと幅広いのですが、まあ本当に効くかどうかは、？つきです。

似たようなお茶で他には野バラ茶（チブケボジョー）これはビタミンをA・B・C・Kと豊富に含み、やはり風邪のときなど良いそうです。菩提樹茶（ハルシェファ）にもビタミン分があり、冷え症にきくそうです。また、

血液を浄化する役目もあり、これは、私もなどもハチミツを垂らして朝食時に愛飲しています。味については、多少慣れる必要があります。味については、好みでレモンやお砂糖も使えます。変わったところではペパーミント茶。爽やかなミントの香りそのままに食欲促進や気分を落ち着けるための効果もあるそうです。

薬草専門店のヘルバリアへ行くと、これ以外にも様々なお茶が所狭しと並んでいます。食欲増進茶・便秘に効くお茶・胃に良いお茶。ダイエツト茶ももちろんあります。さらに、精神安定のためのお茶や禁煙茶などというのまであって、このあたりまでくるといかに信じて飲み続けるか……と言うことも効果に影響しそうです。

でも、元来薬に関してハンガリーには、良伝統と実績があつて、これらもそう迷信めいた物ではなさそうです。

ハンガリー滞在中、ウーロン茶に変わる自分にあつたお茶を見付けて親しむと言うのはいかがでしょうか。



Kamilla

人物往来

工藤フミ子さん（大使館員）

十月十五日に着任致しました。

ヨーロッパ地区は、二度目の赴任になります。最初の地パリではとても感じられなかった「ドナウを挟んで造られた街並」その夜景の見事な美しさには、心から感動してしまいました。

この美しい首都に住んで幸せに思っているところです。

これからもよろしくご指導ください。

安田国彦氏

（大使館員）

十月十六日に着任

致しました。二十一日、才独身です。

ブダペストは、昨年の夏に旅行で来たことがありますので今回で二回目ですが、前回同様この街が大変気に入っています。

これからゆっくりと街を見てまわろうかと思っていますが、今はその暇もなく残念です。

現在は領事・査証を主に担当していますので、皆様とは顔を合わせる機会も多いことかと存じます。

情報コーナー



子供の会へのお誘い

「補習校に通っていない小さな子供達にも、日本語で集える場を」こんな趣旨で一年前から子供会を開いています。

会の主催は、有志の親達。二週間に一度、都合のつくお宅を持ち回りで使っています。



二時間ほどの間、各自一人分のお菓子とジュースを持ちより、家や公園で自由に遊ばせています。時には、水遊び（夏）・餅つき大会等も工夫して行いました。

これからは、ただ遊ばせるだけでなく、一歩進めて子供達への働きかけも行ってという計画中です。

詳しくは、野原（一六―三五三二）まで。

今回は、十二月十八日（月）天野宅にて、ベビーの会も同じような活動を行っています。



こちらは、月三〜四回、お母様方の育児の情報交換の場にもなっています。

詳しくは、牧村（一七六―四七一九）まで。

今回は、十二月十三日（水）牧村宅にて。

外国人用 英語中・小学校開校

ハンガリー在住の外国人を対象に、本格的な英語の中学校が開設される運びとなりました。一九九〇年度からの開校です。

初年度（来年九月）は、十四・十五・十六才（ファースト・セカンドグレード）の生徒を募集しています。

詳しくは、大使館もしくは補習校へ。

補習校だより

音楽の国ハンガリーに住んでいるながら、本場の音楽に触れない法はないということで、我が校ではコダーイ・システムを取り入れて、楽しく充実した音楽を目指し、週一度ながら授業を行っています。

先月二十五日の土曜日には、リスト音楽院で学んでいる日本人留学生三名を招き、音楽会を催しました。

ご父兄のお宅をお借りしての会でしたので、普段ならとても聞けないような近い距離で素晴らしい演奏を聞け、しかも奏者と同じにお話を交わすことができ、子供達にとっても良い体験になったようです。

これからも機会を作ってより優れた音楽に触れさせてあげたいと考えています。



お譲り下さい

不要な英和・和英等の辞書をお持ちの方、安くお譲り下さい。

日本語を勉強している学生が欲しがっています。

連絡先 貿易大学・佐藤(一四九一―二二九九)

ハンガリー・日本友好協会
活動のお知らせ

二年前に発足しました、ハンガリー・日本友好協会からその「活動内容」の紹介が、届きました。別紙同封いたしますので、ご覧ください。

*ドナウ通信を読みたいという在日経験のあるハンガリー人方からご希望があり、ハンガリー・日本友好協会へもこの通信を送ることにいたしました。日洪友好のお役に立てれば幸いです。

ゴルフコンペ

今年のブダベスト・オープンゴルフ・コンペは、すべて終了いたしました。第三回・第四回の結果を報告いたします。

★第三回目 関大使杯

優勝 関大使

二位 塩川典正様

*大使自らが優勝されましたので、二位の塩川さんがトロフィを手にされました。

★日本人会草薙会長杯及び

関大使杯取り切り戦

優勝 森井健次様

二位 磐井征行様

*関大使杯取り切り戦は、岡さん・塩川さんの間で戦われ、

栄光の関大使杯は

最終的に岡さんが

獲得されました。



編集後記

“動乱の”という言葉が相応しい今年が終わろうとしています。大きな歴史の転換点になった年でした。年の終わりということもあり、89年のハンガリーのドキュメントを大使館の協力で掲載いたしました。

歴史の生き証人としてもう一度この一年を振り返ってみてはいかがでしょうか。
☆今年最後の通信です。皆様良いクリスマスそしてお正月をお迎え下さい。

御意見・御感想・投稿等、お待ちしております。

宛先 日本人補習校「ドナウ通信」

住所 C/O Embassy of Japan
1024 Bp II Rómer Flóris u
56-58

発行者 草薙 秀 碩
編集 ブダベスト日本人補習校

ハンガリーの生活情報
教へて下さい

日本人補習校では、ハンガリーの生活情報をまとめたハンガリー・マニュアルを作成中です。ハンガリーに来て気付いたこと、経験から知っておくと便利なこと等、是非お知らせ下さい。

連絡先は、この「ドナウ通信」と同じ、ブダベスト日本人補習校です。



ハンガリー・一九八九年

一九八九年の中東欧は歴史的な激動と変革の年でした。

ハンガリーは、その口火をきった震源地として、歴史の中に記されることになりましょう。この歴史的な一年をスケッチし、わたし達の記憶に留めておくことに致しましょう。

一月

★年初の国会で「結社の権利」と「集会の権利」の法律が採択され、複数政党制と集会・デモの自由が認められた。
政治的復讐主義の法的枠組みを構築。

二月

★十日・十一日の社会主義労働者党の中央委員会では、一九五六年のいわゆるハンガリー動乱を「人民蜂起」として再評価。

以上二つの出来事によって、ハンガリーの国内政治は急速な展開を見せる。

三月

★三月十五日の一八四八年対オーストリア独立戦争の記念日には、在野勢力二三団体が集会とデモを企画し、整然とした示威行動が展開された。この成功に勢いを得た在野勢力は、社会主義労働者党との協議の意思を表明、「反対派円卓会議」を結成。

四月

★ベレッツ政治局長失脚。十五日に、社会主義労働者党改革派集団がケケケメイトで集会を組織。以後、労働者党の内部分裂が表面化し、改革派・ノンポリ中間層・改革保守派の三層構造が明瞭になる。

五月

★オーストリアとの国境線の鉄条網の「撤去」。東ドイツから西への出口として、ハンガリーが脚光を浴びる。
十四日の国会で、チェコスロバキアとの共同プロジェクト・ドナウ河ダム建設の停止を決定。

六月

★十日に三者（労働者党・反対派円卓会議・第三勢力）協議がスタート。十六日に、ナジ首相の埋葬式。この後、グロース首相に対する批判が集中し、党の分裂か、グロース書記長の引退かをめぐって二十三・二十四日の両日にわたり、中央執行委員会では激論を展開。その結果、党の分裂を回避し、グロース書記長を残留させたまま、ニエルシュを党首に選び、ネーメット首相、ボジュガイ國務大臣の四名で幹部会を構成し、党大会までの乗り切りを図る。

七月

★六日にカデル前書記長死去。死去直後、最高裁でナジ首相ほかは無罪確定。十一日十三日ブッシュ大統領訪問。カールマルクス経済大学で歴史的演説、「鉄のカーテンは、初めて開かれたつがある。ハンガリーは、その先駆者的役割を果たしつつある」。続くアルシュサミットでポーランド・ハンガリー支援が表明される。

八月

★夏休みに入り、東ドイツからの旅行者が増え、西ドイツへの亡命を希望して当地西ドイツ大使館に滞留。二十日過ぎから三者協議が活発化し、相互の激しい応酬、駆け引き。

九月

★十一日午前零時を期して、東ドイツ人の自由通行を容認。大量のドイツ人がオーストリアを抜け、西ドイツへ。十八日、三者協議の政治合意が成立。自由民主連合その他は、署名を拒否。政治日程が複雑になる。

十月

★六日より社会主義労働者党の第十四回党大会が開かれ、翌七日に「ハンガリー社会党」と改名、脱皮。ハンガリー共産党消滅。十八日の国会で、「人民共和国」から「共和国」への変更を決定。二十三日に「ハンガリー共和国」樹立宣言。憲法修正。一月七日の大統領選挙および十一月二十六日の国民投票を決定。

十一月

○中旬、日本文化週間。
☆ブルガリアでジフコフ退陣。ベルリンの壁が崩壊。チェコスロバキアでも、一党独裁の崩壊へ進み、中東欧が一気に激動の真っ只中へ。十一月二十六日の国民投票で与党が負け、一月の大統領選挙キャンセル。総選挙の時期をめぐって政党間の駆け引きが活発化。

十二月

○東京オリンピック二十五周年記念パーティー。
☆二日・三日、ブッシュ・ゴルバチョフ、マルタ会談。
ブリュッセルでの東欧支援閣僚レベル二十四か国会議。

こうして、この一年に起こった出来事は、ハンガリーにとっても、世界にとってもヤルタ体制四十年の歴史を大きく転換させる大事件の連続でした。新しい東西関係と世界秩序の構築を目指して、東と西の国は、相互に協力体制を強めつつあります。

(大使館)

東欧燃え八十九年暮れゆかん

新しきマジヤルの国に栄えあれかし

(攷心)